

# わかば

2019. 12. 21

(令和元年)

第19-33号

文責 校長 信國 寿敏

ホームページ <http://www.shokookai.org/gakkou.htm> 毎週火曜日更新

**教育目標** 「帰国後、日本の教育に円滑に適応できるよう、日本の学校における学習指導要領に沿った国語、算数(数学)の学力の維持、併せて生活・生徒指導を行う。」

**重点目標** **一人一人が輝く教育** ～期待登校・満足下校～(2年次)

平成から令和へ変わった2019年もあとわずか…来年も引き続き、「期待登校・満足下校」を目指します。

本年は、元号が令和に変わり、いよいよオリンピックイヤーの2020年を迎えようとしています。

さて、皆様にとって本年は、どのような一年だったでしょうか。きっと、実り多い一年であったことと思います。学校は、保護者の皆様や領事事務所、日本人商工会などの関係各位のご理解とご支援により、円滑な学校経営を進めることが出来ました。心より感謝申し上げます。

2020年度は、日本国内の小学校は新しい学習指導要領の基、新しい学力観の教育を進めていく「変革の年」とも言えます。本校のような補習授業校では、国内同様の対応をすることは無理がありますが、本校なりの新しい授業づくりを授業研究の機会を通して進めてきています。一朝一夕にして具体化するほど容易な変革ではありませんが、頑張ります。

来年の干支の「ねずみ」は、十二支の最初に出てくる干支です。新しい学びが始まる年にふさわしい一番の干支です。全ての子どもたちをより安全安心に導く上で、本年は用心深く丁寧に着実に前進するイノシシでありたいと願った年ですが、来年は、何事にも後れを取らず、先に先にと着実に歩を進み、誰もが期待をもって登校し、笑顔で下校する「期待登校・満足下校」を継続して目指して参ります。

学校は、本日の学芸会が本年最後の授業日です。明日より冬休みに入ります。年の瀬と年の始めは、アメリカや日本の伝統行事や文化を学ぶ絶好の機会です。どなた様も休み中は健康にご留意いただき、楽しいクリスマス、お正月を有意義にお過ごしください。

次の授業日は、来年1月4日(土)、6時間授業です。皆様、どうぞよいお年をお迎えください。

代行教員等の諸先生方をご紹介します…ご支援に、心から感謝いたします。

ありがとうございます。 ※順不同



本校職員が、諸事情で休む場合に、多くの代行教員の先生方のご支援いただいています。

代行の先生方のおかげで、日々の教育活動が円滑に進んでいきます。

これまでのご支援に感謝するとともに、来年も引き続き、ご支援ご協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

代行教員	ヤング 亜希子先生 鈴木 菜穂子先生 山崎 遼子先生 河畑 康子先生 平松 敦子先生 守安 英人先生 高須 綾 先生 矢島 幸代先生	勝本 哲也先生 前川 優子先生 堀内 正子先生 上垣 早和子先生 小林 幸代先生 ジンケ 恵理先生 秋山 久美先生
小6補助	鈴木 菜穂子先生	ヤング 亜希子先生
その他 研修支援	小林 幸代先生	堀内 正子先生

# 児童生徒の作品紹介28



今回は、2年生のつなぎ言葉の作文や中学生の感想文をご紹介します。校長 信國 寿敏



2年生 作文

「つなぎ言葉」から

「クリスマスツリーカット」

ナカニシ ケン

ぼくは、かぞくとクリスマスツリーカットに行きました。はじめに、クリスマスツリーをえらびます。形がきれいで、高い木をさがしました。それから、お父さんとお兄ちゃんがノコギリで切っていました。とてもたいへんでした。そして、車まではこびます。ぼくもはこびました。とてもおもしろかったです。さいごに、木をきれいにしたら、車の上に木をのせました。それで、家へ帰りました。



2年生 作文

「つなぎ言葉」から

「まっちゃんの作り方」

リー エマリン

まず、おちゃわんにまっちゃんのこなを小さじ半分ぐらい入れます。つぎに、お水をやかんでわかします。それから、わいたおゆをおちゃわんに半カップぐらい入れます。こんどは、ちゃせんでそのおゆをよくあわがたつまでかきまぜます。さいごに、ちゃせんをわきにおきます。これで、おいしいまっちゃんのできあがりです。



2年生 作文

「つなぎ言葉」から

「生たまごかけごはんの作り方」

佐々木 周

まず、あったかいごはんをおちゃわんにもりまします。つぎに、れいぞうこから、たまごとって、べつのおさらなたまごをわります。それから、たまごのおさらになんか少しだけしょうゆを入れます。なぜなら、多すぎると、しょっぱいからです。そして、黄みのかたまがなくなるまでよくまぜて、ごはんにかけてまします。さいごに、大きな口で、あったかいうちいいただきます。



2年生 作文

「つなぎ言葉」から

「手まきずしの作り方」

吉野 咲

手まきずしの作り方を、せつめいします。まず、すしめしときゅうりとたまごやきとさかなと、のりなどを、よいしします。つぎに、のりの上にすしめしをのせます。それから、すきなものをトッピングします。さいごに、まるめてしょうゆをつけて食べます。これで、手まきずしの作り方を終わります。



考えや意見を整理したり、伝えたりする上では、順序だてた話や文はとっても大事です。「まず」「はじめに」「つぎに」「そして」「さいごに」などの言葉をうまく使って、順序だったとってもわかりやすい文となっています。書いている時は、何となく楽しみながら書いているのだろうなと、読みながら感じました。黄身の色が薄めの市販の卵は、どうもたまごかけご飯には適していないかなと、色の濃いファーマーズマーケットの卵の時だけは、半熟目玉焼きにしてたまごかけご飯風にします。

抹茶や手巻き寿司は、手際が良くいいですね。たくさんの飾りのツリーは美しいことでしょう。

中学部3年生 感想文  
「蜘蛛の糸」を読んで

ブリテン 詩音

この作品の中では極楽と地獄が描かれています。極楽は、蓮池があつて、池の中に咲いている蓮の花は、玉のようにまっ白で、金色の芯から、いい匂いがあふれています。すばらしい場所のように描かれています。一方、地獄は、蓮池の底の底の底にあり、三途の川や針の山、そして血の池に浮かんでいるほかの罪人たちがいる恐ろしい場所として描かれています。

極楽と地獄を考えたとき、仏教は「天国は上、地獄は下」という考え方があることを発見し、同じような表現がキリスト教にもあることに気付きました。

御釈迦様が地獄にいる犍陀多(カンダタ)に蜘蛛の糸を垂らしてチャンスをおあげた理由は、昔、犍陀多が蜘蛛を殺さずに助けてあげたからだと書かれています。いくら地獄に落ちた犍陀多でもいいことを一つしたので、極楽に行くことができると選択をあたらされました。このことから、いくら悪い男でも御釈迦様が許して極楽に行けるといふことがわかります。

他に僕が気付いたのは、地獄に居る罪人のことです。話の最後の方で、犍陀多が糸を上る時に、御釈迦様はなぜ糸を短くして犍陀多専用の糸にしなかったのか。 ※下段へ

この話のように糸が長い場合、かならず他の罪人も上れるように御釈迦様がしていると思います。しかし犍陀多、全部の罪人が蜘蛛の糸をつかめる資格があるとは限らない。犍陀多のように、一つでも良い事をしたことがある人しか、糸をつかむことができせん。

御釈迦様は、糸をつかんでいる罪人たちは、極楽に行けるといふ希望をおたえたが、蜘蛛の糸をつかんでいる一番先頭の罪人の「人としての欠陥」が表面に出てきて、結局だれ一人として極楽に行けませんでした。

これを考えると、「蜘蛛の糸」は、希望があつて救いようのある話に思えるのだが、それは逆で、最初から地獄にいる罪人達は、いつまでも地獄で生き続ける暗い話だと思います。



【担任 田中先生のコメントから】  
いろいろな観点からこの作品を深く読み興味深い感想文を書くことができました。芥川はこの短い作品に二つの様々な対称物を示し、人間の生き様を示しています。天国と地獄、御釈迦様と犍陀多(地獄と罪人達)、善行と悪行、蓮の花と蜘蛛等々。深く考えさせられる作品です。芥川の他の小説も読んでみましょう。

中学部3年生 感想文  
「蜘蛛の糸」を読んで

神田 太助

僕は、蜘蛛の糸を読んで、他の人を思いやるのがどれだけ大切かと言うことに気づいた。

最初は、何人もの人を殺し、家に火をつけたりする悪さばかりしていた犍陀多(カンダタ)であったが、小さな蜘蛛と出会い、命の重みというものを理解する。このとき、僕はどんな人でも、一つはいいところがあるんだと思った。そして彼は、今は地獄にいる。しかし、御釈迦様は、彼が蜘蛛を助けた事もあり、彼を地獄から救ってあげるのだ。そして、蜘蛛の糸を地獄に垂らしてやった。犍陀多は糸に縋(すが)りついて、上へ上へとぼっていった。途中で下を見ると、たくさん罪人たちが犍陀多の後をのぼってきていたのだ。犍陀多はあわて、下りろ、下りろと喚(わめ)いた。その途端、糸は断たれ、あつというまに地獄におちてしまった。糸を独りじめにしようとしたから罰があつた、そう考えることができる。いくら良いことをしたとは言え、独りじめにするのは良くない。彼も罪人には変わりない。自分だけ、という考え方がこういう結果につながってしまったのだ。

何事にも、自分だけという欲ばつたことはできない。蜘蛛の糸のように、人は人とつながっている。他の人のことも考え、人を思いやるということがどれだけ大切なことが気づくだろう。



【担任 田中先生のコメントから】  
蜘蛛の糸にはいろいろな意味が含まれていますね。芥川は作品を通して、いろいろなことを読者に考えさせています。天国と地獄、御釈迦様と犍陀多、善行と悪行等、なぜ糸は蜘蛛の糸か？大きなロープではいけなかったのか。人の欲がいざという時、どう表れるか等、よく考えて書きました。





# 俳句の部

文部科学大臣賞

走ってもはてが見えない麦畑

シカゴ日本人学校 (アメリカ)

中三 遊亀 陽

海外子女教育振興財団会長賞

坂道につくしが百本おでむかえ

バンコク日本人学校 (タイ)

小五 土屋 蒔衣

日本放送協会賞

黒ねこもおかしをもらうハロウイーン

ウエールズ補習授業校 (イギリス)

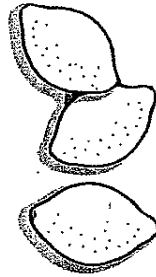
小四 宇賀神 世羅

読売新聞社賞

背伸びしてまた背伸びして  
レモン採る

キト補習授業校 (エクアドル)

小六 ノボア 光歩



JFE 21世紀財団賞

クロールでアラビアわんをまっふたつ

バハレーン日本人学校 (バーレーン)

小二 橋口 結彩

東京海上日動火災保険賞

すきとおるちようちよの羽は海の色

中国在住

小三 久間 菜々子

日販アイ・ピー・エス賞

アザーンで窓を開ければ朝焼けだ

イスラマバード日本人学校 (パキスタン)

中三 土屋 真菜

日本児童教育振興財団賞

おはようのあいさつかき消す  
せみしぐれ

アトランタ補習授業校 (アメリカ)

小六 山原 陽太

クラーク記念国際高等学校賞

ロカ岬風切って飛ぶつばめたち

リスボン補習授業校 (ポルトガル)

中一 河邊 マーティン

